



# 酒田港で学生向け現場見学会を開催しました！

## -山形県立新庄神室産業高等学校 現場見学会-

6月24日（水）、山形県立新庄神室産業高等学校 環境デザイン科3年生14人の皆さんが酒田港を訪れ、港湾工場の現場を見学しました。

港を一望できる北港緑地展望台で酒田港の役割等についての説明を受けた後、当事務所の港湾業務艇「みずほ」等に乗船し、酒田港第二北防波堤の築造工事を見学しました。現場では250tの起重機船「てっかい丸」に乗船し、一般社団法人日本埋立浚渫協会の担当者から、基礎石※の投入やケーソン※の据付の工事概要、使用される大型船舶等について説明を受けた後、実際の現場作業を見学しました。

この日は基礎石を海中に投入するガット船※の作業状況を見学することができ、生徒の皆さんは興味深く現場の状況を見聞きしていました。

実際の現場を見て工事受注者の方の話を聞き、また日頃関わりの少ない港の役割を学んだことで、普段学校で学んでいる土木について、より見識を深める手助けになったのではないのでしょうか。今年度卒業する皆さんにとって、今後の進路選択にあたってのイメージを掴む一助となれば幸いです。

酒田港湾事務所では、現場見学以外にも、皆さんに港の機能・役割・魅力を幅広く知っていただくため、港内見学会を実施しています。（⇒[みなと見学会等の申込の詳細についてはこちらのページをご覧ください。](#)）



展望台で酒田港の概要を説明



港湾業務艇に乗って港内を見学



起重機船「てっかい丸」で工事概要の説明



基礎石の投入作業の見学

※基礎石：防波堤を造るための土台となる石。酒田港の場合、1個あたり最大500kgの重量がある。

※ケーソン：大きなコンクリートの箱で、並べて壁（防波堤）を造ることで波を防ぎ港内を静穏に保つ。

※ガット船：グラブ付旋回起重機を装備し、砂、砂利、石材などの工事用資材を輸送・現場投入する作業船。

